

e-tax代理送信は

なぜ早めに受講を?!



送信件数に限りがある?!

代理送信は、税務代理の権限のある税理士の業務であり、誰でも送信できません。本財団の決算・個人サポートでは、東京税理士会目黒支部の派遣税理士のご協力により代理送信希望者の承諾を得て、実施しております。令和5年は、1月30日から3月13日の間、のべ22日13名の税理士に携わっていたいただきました。

個別サポート終了後、会員の決算書・申告書を本財団の職員・パートによりデータの不備の修正、添付書類の確認など事前準備を行った上で、派遣税理士が最終チェックをして送信します。それでもエラーとなり、送信できないこともあります。送信できる件数は、1日約100件。最終日に近づくにつれ、安全に送信できる件数を事務局で検討し、代理送信を受けられる日を締め切ります。多くの会員さん分の送信をしたいと思うのですが、状況により締め切り日はその年によって変わります。

そのため、希望者には早めの受講を、とご案内をしています。